

# 社教連会報

発行 一般社団法人 全国社会教育委員連合

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6  
日本弘道会ビル7階 TEL 03-6380-8540

## 社会教育の一層の振興に向けて

文部科学省総合教育政策局長

清水 明

現在、人生100年時代の到来、グローバル化の進展、人口減少等社会構造は急速に変化しており、これに対応し、更に新しい価値を創造できる人間を育成していくため、教育政策やその推進のため行政組織も不断に進化していく必要があります。

そのため、文部科学省では昨年10月、生涯学習政策局を再編し、新たな教育分野の筆頭局として総合教育政策局を設置いたしました。

新たな体制の下、学校教育・社会教育を通じた総合的かつ客観的な根拠に基づく教育政策を推進するため

の基盤整備を行うとともに、「生涯にわたる学び」「地域における学び」「ともに生きる学び」の観点から、社会教育を中心とした学びの総合的な推進を図っております。

折しも、昨年12月に中央教育審議会から柴山文部科学大臣に対して「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」が答申されました。本答申では「社会教育を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくり」が社会教育の意義と果たすべき役割であり、そのための方向性として「開かれ、つながる社会教育の実

現」を掲げております。その具体的方策の一つとして、地域の多様な人材を社会教育に巻き込み、連携体制を構築していく必要があります。その際、社会教育に優れた識見や経験を有する社会教育委員との連携等が重要視されております。

また、中央教育審議会では学校における働き方改革についても議論が行われています。教師が専門性を十二分に発揮して質の高い教育活動を担えるよう、学校の運営体制の効果的な強化・充実の方策についても検討されており、その一つとして、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入や地域学校協働活動を推進すべきとの意見も出ております。未来を担う子供たちのために社会教育の果たすべき役割・重要性は増していくものと考えられ、社会教育委員をはじめとする、社会教育関係者と学校との連携・協力の必要性は一層高まっております。

社会が大きく変化する中、個人の幸福な生活と持続可能な活力ある社会の実現に向け、社会教育委員の皆様には引き続き緊密な連携をお願いするとともに、今後とも地域づくりや人づくりのリーダーとして御活躍いただくことを期待しております。



清水 明  
(しみず あきら)

### プロフィール

- S 59・4 体育局スポーツ課
- H 10・4 生涯学習局婦人教育課家庭教育支援室長
- H 12・7 佐賀県教委副教育長
- H 15・5 スポーツ局青少年課長
- H 16・7 生涯学習政策局男女共同参画学習課長
- H 19・1 文化庁芸術文化課長
- H 22・4 宮内庁待従
- H 25・4 文化庁政策課長
- H 26・2 横浜国大理事・事務局長
- H 28・4 香川大理事・副学長
- H 30・10 総合教育政策局長

事務局だより

平成30年度  
第3回理事会・総会について

平成30年度第3回理事会・総会を3月1日(金)に日本弘道会ビル8階講堂にて開催する予定です。

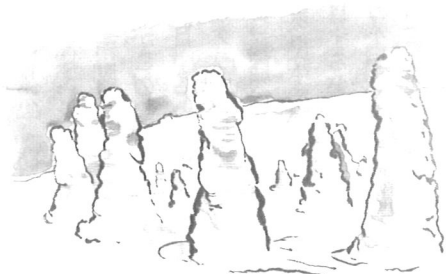
議題は①平成31(新元号元)年度事業計画(案)・収支予算(案)②第61回全国大会(兵庫大会)③第62回全国大会(新潟大会)④第63回全国大会(石川大会)⑤次期役員選考⑥全国社会教育委員連合の運営⑦その他等を予定しております。

平成31(新元号元)年度  
第1回理事会・総会について

平成31(新元号元)年度第1回理事会・総会を、5月17日(金)に日本弘道会ビル8階講堂にて開催する予定です。

議題は①平成30年度事業報告・決算報告②第61回全国大会(兵庫大会)③第62回全国大会(新潟大会)④第63回全国大会(石川大会)⑤役員(理事・監事)の改選⑥全国社会教育委員連合の運営

⑦その他等を予定しております。なお、平成29・30年度の理事の任期は、平成31(新元号元)年5月の総会までとなっておりますので、ご注意ください。



平成31(新元号元)年度社会教育研究大会一覧(予定)

全国大会	(兵庫大会)	10月23日(水)～25日(金)	兵庫県(神戸市)
北海道地区	(十勝大会)	10月10日(木)～11日(金)	十勝管内(帯広市)
東北地区	(岩手大会)	10月17日(木)～18日(金)	岩手県(盛岡市)
関東甲信越静地区	(埼玉大会)	11月7日(木)～8日(金)	埼玉県(川越市)
東海北陸地区	(三重大会)	10月10日(木)～11日(金)	三重県(津市)
近畿地区	→ 全国大会合同開催(兵庫県)		
中国・四国地区	(岡山大会)	11月7日(木)～8日(金)	岡山県(岡山市)
九州地区	(佐賀大会)	8月29日(木)～30日(金)	佐賀県(佐賀市)
指定都市		7月5日(金)	愛知県(名古屋市)

社教情報 No.80

社会教育の明日を拓く

特集テーマ 地域で活躍する社会教育委員

<巻頭言> これからの社会教育委員の役割 全国社会教育委員連合 副会長・常務理事 馬場 祐次朗

<特集> 渡邊哲郎、吉野達也、柴田渥、吉田秀弘、徳永雅士・田岡希望

<この人に聞く> 税所篤快氏 取材 清國 祐二

<思考と提言> 社会教育と財源確保(1)～クラウドファンディングとは～ 清國 祐二

<社会教育委員活性化セミナー報告> 沖縄県八重山地区、京都府

<社会教育委員の手引き等の紹介> 『社会教育委員活動のためのハンドブック』 神奈川県 鈴木 眞理

<答申・提言> 「学びを通じて人々がつながる社会の仕組みをいかにつくるか」(提言) 白井 淳子

<社会教育委員Q&A> 地域にて社会教育を推進するため取り組むべき課題 神部 純一

編集・発行 (一社)全国社会教育委員連合  
TEL 03(6380)8540 FAX 03(6380)8541

# 第60回全国社会教育研究大会（青森大会）を終えて

## ～全国からの参加者に感謝～

第60回全国社会教育研究大会  
青森大会は、平成30年10月24日  
（水）から26日（金）までの3日間

にわたり全国から926名の参加を得て、リンクステーション  
ホール青森（青森市文化会館）、  
ホテル青森、青森国際ホテルを  
会場に開催いたしました。

大会期間中は天候にも恵まれ  
無事終了できたことに加えて、  
平成最後の大会開催にあたって、  
短期間ではありましたが「チーム  
青森」として一丸となっておも  
てなしの精神で開催準備に取り  
組んでくれた実行委員会のメン  
バーをはじめ、青森明の星短  
期大学の学生ボランティア、青  
森県内40市町村の広報、物販担  
当の皆様、並びに協賛企業各社、  
さらには本大会のアトラクショ  
ンのために全校あげて往復5時  
間近くをかけ地元伝統芸能を披  
露してくれた青森県立田子高等

学校の方々には心より感謝とお礼  
を申し述べたいと思います。

本研究大会は、全国社会教育研  
究大会として、はじめて東北地区  
公民館連絡協議会との合同開催と  
もなることから、「社会教育の新  
たな種を広めよう青い森から全国  
に」を大会スローガンに、研究主  
題を「課題をチャンスに持続可能  
な未来を創る社会教育の実践を」  
と設定し開催しました。

今、地方にとっては喫緊の課  
題である人口減、高齢化等に対  
してさまざまな取り組みが試み  
られています。社会教育（委員）  
への期待には大きいものがある  
と考えます。その一方で社会教  
育委員は一体どういう役割があ  
るのか、あるいは今まで何を果  
たしてきたのか、地域の振興の  
ためにはどのような果たすべき  
ことがあるのか、という再確認  
の議論もされていると聞いてい

ます。まずは、それぞれの自治  
体で社会教育計画の企画、立案  
等々を積極的に行っていくこと  
が社会教育委員は重要だとい  
ことを住民、自治体の議員、関  
係者に理解していただく唯一の  
手法と考え、本大会では「社会教  
育委員の見える化」を、「隗より  
始めよ」と全国社会教育委員連合  
の役員の方々にコーディネート  
や助言者をお願いしました。ま  
た分科会もできる限り昨年まで  
の参加型の内容を踏襲しつつ、  
グループでの話し合いも重視し  
て、たたき台としての話題提供  
を取り入れる内容にしました。

全国各地の社会教育委員を  
はじめとする社会教育関係者が一  
堂に会し、三村申吾青森県知事  
と前社教連会長の大橋謙策氏に  
よる記念対談、「社会教育委員の  
見える化」を視点に社会教育委員  
の本気度を考えるシンポジウム



ほか5つの分科会のプログラム  
から、参加者一人一人が未来を  
変えるためには何ができるかと  
いう現下の課題に則したテーマ  
について、有意義な情報や意見  
交換を行うことが出来たものと  
考えております。

第60回全国社会教育研究大会青森大会

実行委員会委員長 内海 隆

事務局だより

平成30年度  
第3回理事会・総会について

平成30年度第3回理事会・総会を3月1日(金)に日本弘道会ビル8階講堂にて開催する予定です。

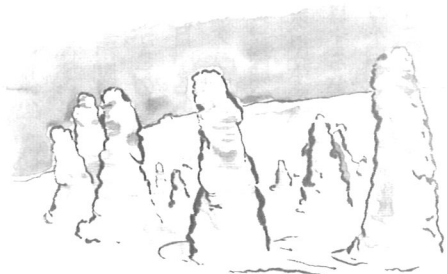
議題は①平成31(新元号元)年度事業計画(案)・収支予算(案)②第61回全国大会(兵庫大会)③第62回全国大会(新潟大会)④第63回全国大会(石川大会)⑤次期役員選考⑥全国社会教育委員連合の運営⑦その他等を予定しております。

平成31(新元号元)年度  
第1回理事会・総会について

平成31(新元号元)年度第1回理事会・総会を、5月17日(金)に日本弘道会ビル8階講堂にて開催する予定です。

議題は①平成30年度事業報告・決算報告②第61回全国大会(兵庫大会)③第62回全国大会(新潟大会)④第63回全国大会(石川大会)⑤役員(理事・監事)の改選⑥全国社会教育委員連合の運営

⑦その他等を予定しております。なお、平成29・30年度の理事の任期は、平成31(新元号元)年5月の総会までとなっておりますので、ご注意ください。



平成31(新元号元)年度社会教育研究大会一覧(予定)

全国大会	(兵庫大会)	10月23日(水)～25日(金)	兵庫県(神戸市)
北海道地区	(十勝大会)	10月10日(木)～11日(金)	十勝管内(帯広市)
東北地区	(岩手大会)	10月17日(木)～18日(金)	岩手県(盛岡市)
関東甲信越静地区	(埼玉大会)	11月7日(木)～8日(金)	埼玉県(川越市)
東海北陸地区	(三重大会)	10月10日(木)～11日(金)	三重県(津市)
近畿地区	→ 全国大会合同開催(兵庫県)		
中国・四国地区	(岡山大会)	11月7日(木)～8日(金)	岡山県(岡山市)
九州地区	(佐賀大会)	8月29日(木)～30日(金)	佐賀県(佐賀市)
指定都市		7月5日(金)	愛知県(名古屋市)

社教情報 No.80

社会教育の明日を拓く

特集テーマ 地域で活躍する社会教育委員

<巻頭言> これからの社会教育委員の役割 全国社会教育委員連合 副会長・常務理事 馬場 祐次朗

<特集> 渡邊哲郎、吉野達也、柴田渥、吉田秀弘、徳永雅士・田岡希望

<この人に聞く> 税所篤快氏 取材 清國 祐二

<思考と提言> 社会教育と財源確保(1)～クラウドファンディングとは～ 清國 祐二

<社会教育委員活性化セミナー報告> 沖縄県八重山地区、京都府

<社会教育委員の手引き等の紹介> 『社会教育委員活動のためのハンドブック』 神奈川県 鈴木 眞理

<答申・提言> 「学びを通じて人々がつながる社会の仕組みをいかにつくるか」(提言) 白井 淳子

<社会教育委員Q&A> 地域にて社会教育を推進するため取り組むべき課題 神部 純一

編集・発行 (一社)全国社会教育委員連合  
TEL 03(6380)8540 FAX 03(6380)8541

## 第61回全国社会教育研究大会 兵庫大会

2019年度近畿地区社会教育研究大会  
2019年度兵庫県社会教育研究大会

### ご案内

## 学びと実践の収穫祭 ごこく豊穰 in ひょうご

人生100年時代を迎えようとしている今日、多様な人々の価値観を認め合い支え合いながら幸せに生きるとともに、一人一人が主体的に参画できる社会を実現するため、社会教育に対する期待はますます大きくなっています。こうした社会の中で、全ての人が生涯を通じて、共に学び、活躍する協働型社会の実現を目指し、地域の生涯学習支援を進めていくことが、今後の予測困難な時代を切り開く鍵になると考えます。

本県は、北は日本海に面し、南は瀬戸内海から淡路島を介して太平洋へと続く地形とともに、大都市から農山村、離島までを含む様々な地域で構成されています。その歴史は古く、摂津・播磨・但馬・淡路・丹波の旧五国から成り立っており、歴史や文化、気候、風土が異なるこれら五国が、豊かな自然の中でそれぞれの個性を発揮し、多様性を認め合い、連携・協働しながら歴史を積み重ね、昨年、県政150年という節目を迎えました。

その間、私たちは、阪神・淡路大震災からの創造的復興に取り組む中で、互いに助け合い感謝する心を再確認し、その経験と教訓を基に、安心・安全の基盤をより強固にすることができました。現在では、その経験を生かし、参画と協働による持続可能な自立した地域づくりへとステージを移しているところです。

本大会では、「学びと実践の収穫祭 ごこく豊穰 in ひょうご」のスローガンの下、「多様性」をキーワードに、それぞれの地域の特性や実態に応じた多様な考え方や取組に触れる中で、今後求められる社会教育の実践につながる実り多い大会にしたいと考えています。

大会期間中は、本県の歴史や文化に触れていただくとともに、豊かな風土に育まれた食材を使った美味しい食べ物を満喫していただければ幸いです。新たな元号元年に開催される記念すべき大会に、全国各地からたくさんの方のお越しをお待ちしています。

兵庫県社会教育委員協議会会長

第61回全国社会教育研究大会兵庫大会実行委員会委員長 上羽 慶市

### ◇大会の概要

- 1 研究主題 多様性を認め合う、豊かな地域社会のための社会教育の実践
- 2 期 日 2019年10月23日(水)～25日(金)
- 3 会 場 神戸ポートピアホテル・ポートピアホール 他 (神戸市中央区港島中町6丁目10-1)
- 4 大会日程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	20:00
第1日 10/23 (水)							全国社教連 理事会 15:00～16:30		全国社教連 事務局会議 17:00～18:00		
第2日 10/24 (木)		全国社教連総会 10:00～11:30	受付 10:30～12:15	アトラク ション 12:15～ 12:45	開会行事 (表彰式) 12:50～13:40	記念講演 13:50～15:00	シンポジウム 15:10～16:40	閉会 行事		情報交換会 18:00～20:00	
第3日 10/25 (金)	受付	分科会 9:30～12:00									

### 5 分科会

分科会(予定)	研究主題
学校・地域の連携・協働	子供たちの成長を支える学校・地域の連携協働の実践
子育て・家庭教育支援	地域がつなぐ子育て・家庭教育支援の推進
地域づくり	人口減少時代に対応する魅力ある地域づくりの実現
高齢者の生涯学習	人生100年時代を踏まえた生涯学習の推進
安心・安全なまちづくり	地域の暮らしを守る安心・安全な社会の構築
多文化共生	多様性を認め合い、多文化共生をめざす社会の実現

・分科会は、小グループを編成し、ワークショップを行ないます。

- 6 大会参加費 5,000円/人(参加資料代として)

平成30年度  
地区別社会教育  
研究大会

北海道地区

地域資源や特性を生かした  
地域の活性化と社会教育活動  
社会教育委員が今なすべきこと  
第58回北海道社会教育研究大会  
(後志大会)は、10月12日、13日に  
留寿都村で開催されました。



9月6日に発生した北海道胆振東  
部地震の影響による参加状況が気が  
かりでしたが、全道各地から421  
名の参加を得ることができました。  
初日は開会式・表彰式の後、ニセ  
コアドベンチャーセンター代表のロ  
ス・フィンドレー氏による「教育と  
して地域のSustainability」をテーマとした特別講演。  
引き続き、NPO法人子どもの未来  
にじ色ブレイス代表理事の安田香織  
氏から「未来へつなぐ〜こどもの居  
場所を通して〜」と題して基調講演  
を行いました。

2日目は、6つの分科会に分かれ、  
それぞれの提言と討議の視点に基づ  
き、小グループによる活発な意見交

流が行われました。

衝撃的な災害発生から一月後の大  
会でしたが、昨年度開催の全国大会  
をオール北海道で取り組んだ中で  
様々な経験や培った力が生かされた  
大会でした。このような力が、今後、  
全道各地での社会教育の活発化につ  
ながるものと確信しています。

北海道社会教育委員連絡協議会

会長 大島 峰夫

関東甲信越静地区

連携・協働による未来志向の

社会教育のあり方を考える

持続可能な地域コミュニティを目指して  
11月15〜16日、第49回関東甲信



越静社会教育研究大会長野大会が、  
長野市ホクト文化ホールを主会場  
に、約950名の参加を得て開催  
されました。「おもてなしの心」2  
日間筋の通った研究「公民館や社  
会福祉協議会等との共催」をコンセ  
プトに、企画・運営を行いました。

1日目は、地元長野市松代「真田  
勝鬨太鼓」の皆さんによる煌びやか  
で力強い太鼓演奏で皆様を歓迎し、  
開会。その後は、「人と地域が育つ

社会教育のあり方」と題し、東京大  
学名誉教授の佐藤一子氏による基  
調講演。続けて、翌日の分科会ファ  
シリテーターの皆様をコーディネート  
ネーター及びパネリストとし、大  
会の研究主題に基づいてのパネル

ディスカッションが繰り広げられ  
ました。

2日目は、5つの分科会(「学校・  
家庭・地域の連携、公民館活動、  
福祉教育、社会教育委員の役割、  
未来の地域づくり」と社会教育)に  
おいてそれぞれに学び合いました。  
多くの皆様のご参加とご協力に  
より、実り多い大会となりました  
ことに心から感謝申し上げます。

関東甲信越静社会教育委員連絡協議会

会長 小池 玲子

東海北陸地区

学びと絆を深める社会教育

第49回東海北陸社会教育研究大会  
(岐阜大会)、第10回岐阜県社会教育  
推進大会が、10月18日・19日岐阜県  
大垣市において、900名余りの参  
加を得て、盛大に開催されました。  
初日のアトラクションは、大垣市

社会教育委員の会が制作した「音楽  
と映像で綴る大垣市の魅力」ブラー  
ムスと琴の出会いはいよいよから始  
まった」を、演奏と映像で参加者  
を魅了しました。

開会行事に続いて、「みんな。いつ  
しよに〜多様性尊重教育〜」と題し

て、岐阜聖徳学園大学の安田和夫教授に、記念講演を頂き、多様な人々と共に地域などをつくっていくことの素晴らしさを学びました。

第2日目は5つの課題・分科会にわかれ、各県と岐阜県内各地区から提案された実践事例を基に、活発な協議や意見交換が行われました。とりわけ、社会教育委員と公民館関係者が協力し、学校は言うまでもなく教育委員会・首長部局の行政、地域の諸機関・団体と協働・連携して社会教育を推進する話題がありました。

参加された皆様が今大会で学ばれたことをもとに、未来への夢と希望を描き、自信をもって学びと絆を深める地域づくりの実践などに、一層



ご活躍されることを心より願っています。

**近畿地区**

人と人とのつながりを築き、絆を深める社会教育

岐阜県社会教育委員連絡協議会  
会長 西村 覺良

故郷への愛着と誇りを大切にしながら、平成30年度近畿地区社会教育研究大会「和歌山大会」は、9月7日に和歌山県民文化会館、ホテルアパローム紀の国、和歌山県自治会館を会場に、800名を超える参加を得て開催されました。

午前の記念講演では、高野山大学名誉教授の山陰加春夫（やまかげ



かずお）氏から「高野山開創1200年」その歴史と文化」と題し、御講演を賜りました。

また午後からは、5分科会（「青少年教育」、「人権教育」、「環境教育」、「学校・家庭・地域の協働」）において、近畿各府県の実践が発表され、活発な協議及び意見交換が行われました。

近畿各府県から御参加いただいたたくさんの方々の社会教育関係者の皆様がこの大会で学ばれたことをもとに、各地域で一層御活躍されることを心より願っております。

和歌山県社会教育委員連絡協議会

会長 辻 敏弘

**中国・四国地区**

志国高知で維新伝心

持続可能な地域社会の構築をめざして、第41回中国・四国地区社会教育研究大会（高知大会）は、11月15日、16日の両日、高知県高知市において、513人の参加を得て開催されました。

初日は、本年度よさこい祭り金賞受賞チームのよさこい鳴子踊りの披露と、高知市立高知商業高等



学校の生徒による、ラオスに学校を贈る国際協力活動の発表をしていただきました。

記念講演では、限界集落で県の地鶏「土佐ジロー」の養鶏・加工・販売を手がける小松圭子氏に「生きたい場所がある。だから、ここに生業を創る」と題し、講演いただきました。

パネルディスカッションでは、『地域の「担い手」を育て、つなげるために必要なこととは』をテーマに活発な議論が交わされました。

2日目は、4つの分科会学校・家庭・地域の連携と協働、社会教育委員の活動、家庭教育支援、地域コミュニティづくりに分かれ、



事例提供に基づいたグループワークを行い、活発な討議や意見交換が行われました。

今大会が、参加された皆様の新たな取組やネットワークづくりにつながることを願っております。

高知県社会教育委員連絡協議会

会長 田部 雅彦

九州地区

夢や希望「あふれる思い」ば、

かたらんね!

「社会教育でつながる九州の絆」  
第48回九州ブロック社会教育研究  
大会熊本大会を、約1,100名の  
参加を得て開催することができまし  
た。

近年、熊本地震をはじめ、未曾  
有の大災害がふるさと九州を襲い  
ました。そこで、九州の復興・発  
展を目的として本大会を開催した  
ところでは。

1日目は、4分科会「青少年の健  
全育成」「学校と地域の連携・協働」  
「社会教育委員の役割」「自助・共  
助によるまちづくり」が行われまし  
た。夢や希望を皆で語った時間は、  
今後の地域を輝かせる取組につなが  
ると確信しました。



2日目のアトラクションは、地元  
の秀岳館高等学校雅太鼓部「まっつ  
り・妙見」の演奏で、郷土芸能を継  
承するという熱い思いに感動しまし  
た。記念講演は、熊本県知事蒲島郁  
夫氏による「熊本地震からの創造的  
復興へ決断・目標・対応の政治学」  
でした。「逆境の中にこそ夢がある」  
という言葉は、社会教育を推進する  
うえでの励みとなり、原動力となり  
ました。

参加された皆様が、本大会を機に、  
九州の絆をさらに深め、今後の社会教  
育の振興と夢のある地域づくりにつ  
なげていただくことを願っています。

熊本県社会教育委員連絡協議会

会長 田中 道範

北から南から

一市民の声、願い

宮城県社会教育委員連絡協議会

会長 菅原 敏元



「私は、市内に在住する一市民で、

孫を放課後児童クラブに預けている  
一祖母です。私も勤労(働いている)  
者ですので、放課後児童クラブに仕  
事が終了後毎日孫を迎えに行きま  
す。その時目にする光景や保護者の  
会話等から、子供達の放課後児童ク  
ラブにおける諸問題が次第に見えて  
きて心を痛めています。将来の栗原  
市や日本を担う子供達を取り巻く環  
境は本当にこれでいいのだろうか、  
栗原市として「将来を担う子供の育  
成」を本気で考え、議論、検討する  
場はないのだろうか? 本当に栗原

の未来を考え、子供達への思いが強  
まるばかりです。そこで、一祖母の  
立場から垣間見た課題や改善点の具  
体を少々述べてみたい。」……先日、  
社会教育委員である私にこのような  
陳情依頼がありました。

要約すれば、「栗原っ子」の育成  
に関してより広く市民からの声も取  
り入れ、本気になって検討ができる  
ようなプロジェクトチームを立ち上  
げる必要があると信じてや  
りくり」に力を入れてこそ、豊かで明  
るい栗原がうまれてくると信じてや  
みません。特に、「躰」という家庭  
教育の充実を強化する必要があります」と  
いう願いでした。

「躰」と言えは児童文学者である  
吉野源三郎さんのコペルニクスの  
話ではありませんが、子供のうちは  
常に自分を中心にして物事を捉え  
る地動説ではなく天動説のような  
考え方をしておりますが、大人に  
なれば広い世間というものを先に  
して、そのうえでいろいろな物事や、  
人を理解していくようになる……の  
が当時の常識? であつたはずで  
す。昨今の社会は「とかく自分を中  
心としたものごとを考えたり、判断  
したりする性質は、大人の間にも根  
深く残っている人間が多い」ことに



私自身少し危惧を抱いているのも事実であります。

平成30年10月の組織再編に伴い、生涯学習政策局が総合教育政策局と呼称が変わり「社会教育課」が「地域学習推進課」となり「社会教育」の文字が消滅しましたが、昭和24年6月に施行された「社会教育法」はまだ生きています。そして、社会教育委員の職務である第17条第1項にある「社会教育に関する諸計画を立案する事」にあるように、私たちは諮問に対する意見を述べると同時に、市民の声を真摯に受け止め、考動する立場にあることを忘れてはならないと考えます。 合掌

### 地域活動の中核は社会教育

福岡市社会教育委員会議

委員長 古市 勝也



毎年です。秋になると地域では「文化祭」「体育祭」「防災訓練」等が目白押しです。その祭り等の場は、公民館、市町民センター等です。さらに、誰がこの祭り等を動かしているかに注目すると、自治会・永寿会（高齢者クラブ）役員や、食事改善推進委員、地域福祉推進員、スポーツ推進委員、民生委員の人たちです。さらに注目すると、この活動の中核で支援・コーディネートしているのは「公民館」職員なのです。それに、公民館講座の受講生や各種クラブ・サークルの皆さんが参画応援している構図が多いのです。

福岡市の「共創」自治協議会サミット」を覗いてみました。地域活動が評価され、市長から表彰された団体の殆どは、公民館や市民センターを拠点にしているのです。まさに、地域活動の拠点は「公民館」や「市町民センター」等であり、地域を動かしている中核は社会教育活動であると確信しました。

今、国は「まち・ひと・しごと創生法」（公布日：平成26年11月28日）を施行し、「国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成」（目標第1条）等を掲げています。

では今、自分たちの地域社会の形成活動をしているのは誰でしょうか。また、この活動の拠点は何処でしょうか。その場は、「公民館」「市町民センター」等であり、その地域で学習し活動している人やグループ・サークルなのです。まさに、社会教育活動が地域を動かしているのです。すなわち、これからの地域創生・地域社会の形成には地域での社会教育活動が大事なのです。

では、「具体的にどうするか」です。文科省から社会教育課が消え、「学習」「文化」「スポーツ」が首長部署管轄になった今、地域活動は、地域づくり、市民活動、地域振興、福祉、健康、環境、防犯防災行政等の連携・協働が始まっています。そこで大事なものは、地域をベースに活動する人やグループ・サークルをコーディネートする人が必要です。そのコーディネート役が社会教育であると確信します。

NHK総合テレビ（2018年6月6日放送）によると、米国・英国での研究を根拠に「健康寿命を延ばすために最も効果的なのは「人とのつながりを作ること」としています。「でしょう！だから地域の社会教育は大事なんです！」と叫びたいです。

（改訂版）

## 社会教育委員のためのQ&A

### 社会教育委員 必読の一冊

好評発売中

\*法改正に対応しています



A5判 定価1,296円(税込)  
企画・編集/  
(一社)全国社会教育委員連合  
発行/(株)美巧社

#### 主な内容

社会教育とは、社会教育と生涯学習  
社会教育委員委嘱の範囲  
諮問に応じるとは  
教育委員会への助言とは  
必要な研究調査とは  
社会教育委員制度の活性化

社会教育と社会教育行政  
实际生活に即するとは  
環境を醸成するとは  
社会教育を行う者とは  
社会教育の振興と地方公共団体の任務  
公の支配に属しないとは  
教育委員会と社会教育関係団体の関係

事務局だより

平成30年度  
第3回理事会・総会について

平成30年度第3回理事会・総会を3月1日(金)に日本弘道会ビル8階講堂にて開催する予定です。

議題は①平成31(新元号元)年度事業計画(案)・収支予算(案)②第61回全国大会(兵庫大会)③第62回全国大会(新潟大会)④第63回全国大会(石川大会)⑤次期役員選考⑥全国社会教育委員連合の運営⑦その他等を予定しております。

平成31(新元号元)年度  
第1回理事会・総会について

平成31(新元号元)年度第1回理事会・総会を、5月17日(金)に日本弘道会ビル8階講堂にて開催する予定です。

議題は①平成30年度事業報告・決算報告②第61回全国大会(兵庫大会)③第62回全国大会(新潟大会)④第63回全国大会(石川大会)⑤役員(理事・監事)の改選⑥全国社会教育委員連合の運営

⑦その他等を予定しております。なお、平成29・30年度の理事の任期は、平成31(新元号元)年5月の総会までとなっておりますので、ご注意ください。



平成31(新元号元)年度社会教育研究大会一覽(予定)

全国大会	(兵庫大会)	10月23日(水)～25日(金)	兵庫県(神戸市)
北海道地区	(十勝大会)	10月10日(木)～11日(金)	十勝管内(帯広市)
東北地区	(岩手大会)	10月17日(木)～18日(金)	岩手県(盛岡市)
関東甲信越静地区	(埼玉大会)	11月7日(木)～8日(金)	埼玉県(川越市)
東海北陸地区	(三重大会)	10月10日(木)～11日(金)	三重県(津市)
近畿地区	→ 全国大会合同開催(兵庫県)		
中国・四国地区	(岡山大会)	11月7日(木)～8日(金)	岡山県(岡山市)
九州地区	(佐賀大会)	8月29日(木)～30日(金)	佐賀県(佐賀市)
指定都市		7月5日(金)	愛知県(名古屋市)

社教情報

80



社会教育の明日を拓く 社教情報 No.80

特集テーマ 地域で活躍する社会教育委員

- <巻頭言> これからの社会教育委員の役割 全国社会教育委員連合 副会長・常務理事 馬場 祐次朗
- <特集> 渡邊哲郎、吉野達也、柴田渥、吉田秀弘、徳永雅士・田岡希望
- <この人に聞く> 税所篤快氏 取材 清國 祐二
- <思考と提言> 社会教育と財源確保(1)～クラウドファンディングとは～ 清國 祐二
- <社会教育委員活性化セミナー報告> 沖縄県八重山地区、京都府
- <社会教育委員の手引き等の紹介> 『社会教育委員活動のためのハンドブック』 神奈川県 鈴木 眞理
- <答申・提言> 「学びを通じて人々がつながる社会の仕組みをいかにつくるか」(提言) 白井 淳子
- <社会教育委員Q&A> 地域にて社会教育を推進するため取り組むべき課題 神部 純一

編集・発行 (一社)全国社会教育委員連合  
TEL 03(6380)8540 FAX 03(6380)8541